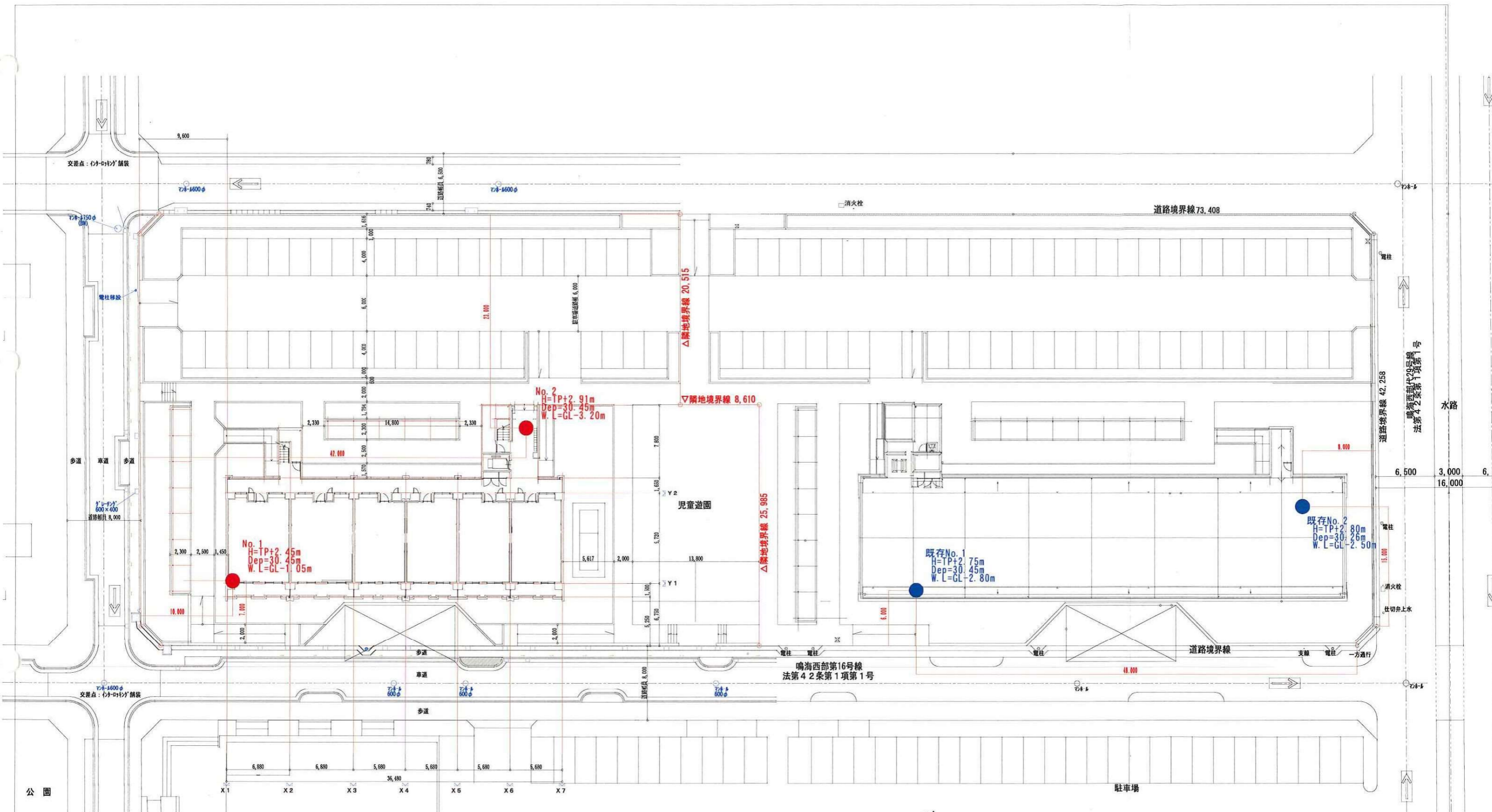


《 卷 末 資 料 》

- ・ 調査地点位置図・・・・・・・・・・1 葉
- ・ ボーリング柱状図・・・・・・・・・・2 葉
- ・ 既存ボーリング柱状図・・・・・・・・2 葉
- ・ 土層推定断面図・・・・・・・・・・3 葉
- ・ 孔内水平載荷試験データ・・・・・・1 式
- ・ 室内土質試験データ・・・・・・・・・・1 式
- ・ 液状化判定結果表・・・・・・・・・・1 式
- ・ 現場記録写真・・・・・・・・・・1 式
- ・ 打合せ記録簿・・・・・・・・・・1 式

・ 調査地点位置図



KBM(仮ベンチ・マーク)は調査地敷地南西側の公園内の南側にある消防用水表示板基礎天端(H=T.P+2.25m)を基準点とした。

真北はTOMIO式真北測定器にて測定日2013年9月13日

鳴海住宅建築設計 (第3次)		図面番号 A
調査地点位置図	縮尺 1/400	No.
愛知県建設部建築局 公営住宅課		

・ ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調査名 平成27年度 鳴海住宅地質調査(第3次)

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	名古屋市緑区浦里四丁目地内			北緯	35° 5' 9.3"								
発注機関	愛知県建設部建築局 公営住宅課			調査期間	平成27年10月20日 ~ 27年10月22日			東経	136° 56' 38.0"							
調査業者名	株式会社 大和地質 電話(052-354-5700)		主任技師	丹羽 善一		現場代理人	丹羽 善一		コア鑑定者	丹羽 善一		ボーリング責任者	坪井 正樹			
孔口標高	TP +2.45m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南		地盤勾配	鉛直 水平 0°		使用機種	カノ KR-50HC		ハンマー落下用具	半自動落下	
総掘進長	30.45m		度	0°		向	西 180° 東 90° 南		エンジン	ヤンマー NFD-9		ポンプ	カノ-V6			

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験	原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
1	0.65	1.80	盛土・シルト質砂礫	淡茶灰	緩い			敷地造成時の盛土。φ2~50mm程度の亜円礫を主体とする砂礫よりなる。マトリックスはシルト質砂。含水量は少ない。コンクリート片や玉石を混入する。	10/20 1.15 1 2 2 5/30				
2	-0.40	1.05	シルト	暗灰	軟らかい		粘性の強いシルトよりなる。含水量は中位。細砂を少量混入する。腐植物片を混入する。軟弱である。	2.15 1/15 1 1/8 3/33					
3	-0.95	0.55	シルト質砂	暗灰	軟らかい		粒径均一な砂よりなる。含水量は中位。全体にシルト分を混入し、互層状を呈す。	2.48 3.15 1/11 1/11 1/32			3.15 IP-1	○ 細粒分含有率	
4	-2.05	1.10	砂	暗灰	中ぐらい		粒径やや不均一な中粒砂よりなる。含水量は中位。	3.47 4.15 4 4 3 11/30			3.47 4.15 IP-2	○ 細粒分含有率	
5								5.70 ハンマー自沈 0/55	5.70	孔内水平載荷試験 E=0.86MN/m ³			
6								6.15 ハンマー自沈 0/55	6.30				
7								6.70 ハンマー自沈 0/55					
8								7.15 ハンマー自沈 0/55					
9								7.70 ハンマー自沈 0/55					
10								8.15 ハンマー自沈 0/55					
11								8.70 ハンマー自沈 0/55					
12								9.15 ハンマー自沈 0/55					
13								9.70 ハンマー自沈 0/55					
14	-11.65	9.60	砂	灰	中ぐらい		粘性の強いシルトよりなる。含水量はやや多い。小さな貝殻片を少量混入する。GL-12m付近、φ3mm以下の細礫を少量混入する。GL-13.95~14.10m間、砂礫を挟む。全体に非常に軟弱である。	10.15 ハンマー自沈 0/55					
15	-12.20	0.55	砂	灰	中ぐらい		粒径やや不均一な中粒砂よりなる。含水量は中位。	10.70 ハンマー自沈 0/55			14.15 IP-3	○ 細粒分含有率	
16								11.15 ハンマー自沈 0/55					
17								11.70 ハンマー自沈 0/55					
18								12.15 ハンマー自沈 0/55					
19	-17.35	5.15	砂礫	灰	密な、非常に密な		φ2~20mm程度(φmax40mm程度)の亜円~亜角礫を主体とする砂礫よりなる。礫間充填物は砂。含水量はやや多い。GL-16m付近、若干のシルトを混入する。GL-16.95~17.20m間、シルトを挟む。全体に良く締まっている。	12.70 ハンマー自沈 0/55					
20								13.15 1 1/25 2/35					
21	-19.35	2.00	シルト質砂礫	白灰	密な		φ2~30mm程度(φmax50mm程度)の亜円~亜角礫を主体とする砂礫よりなる。礫間充填物はシルト質砂。含水量は多い。孔壁崩壊が顕著。全体に締まっている。	13.50 14.15 8 7 8 23/30					
22								14.45 15.15 13 12 10 35/30					
23								15.45 16.15 9 11 11 31/30					
24								16.45 17.15 12 33 15 60/25					
25	-22.25	2.90	シルト	乳灰	硬い		粘性の強いシルトよりなる。含水量は中位。下部、若干の砂分を混入する。全体にやや硬質なシルトである。	17.40 18.15 24 36 60/18					
26	-22.75	0.50	砂質シルト	淡青灰			粘性中位なシルトよりなる。含水量は中位。砂は細砂で全体に混入する。	18.33 19.15 26 15 19 60/29					
27								19.44 20.15 14 13 17 44/30					
28								20.45 21.15 11 11 15 37/30					
29	-27.25	4.50	シルト混じり砂礫	淡青灰	非常に密な		φ2~30mm程度(φmax50mm程度)の亜円~亜角礫を主体とする砂礫よりなる。礫間充填物は砂。含水量はやや多い。若干の逸水が認められる。全体に非常に良く締まっている。	21.45 22.15 6 6 5 17/30					
30	-28.00	0.75	固結シルト	淡青灰	固結した		粘性中位なシルトよりなる。含水量はやや少ない。固結状を呈する硬質な粘性土層である。	22.45 23.15 3 3 4 10/30					
								23.45 24.15 3 4 4 11/30					
								24.45 25.15 8 31 21 60/27					
								25.42 26.15 28 32 9 27/19					
								26.34 27.15 32 28 60/20					
								27.35 28.15 28 28 4 60/21					
								28.36 29.15 22 32 6 60/21					
								29.36 30.15 10 12 13 35/30					
								30.45					

ボーリング柱状図

調査名 平成27年度 鳴海住宅地質調査(第3次)

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	名古屋市緑区浦里四丁目地内			北緯	35° 5' 9.6"						
発注機関	愛知県建設部建築局 公営住宅課			調査期間	平成27年10月22日 ~ 27年10月26日			東経	136° 56' 39.4"					
調査業者名	株式会社 大和地質 電話(052-354-5700)		主任技師	丹羽 善一		現場代理人	丹羽 善一		コア鑑定者	丹羽 善一		ボーリング責任者	坪井 正樹	
孔口標高	TP +2.91m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	カノ KR-50HC		ハンマー落下用具	半自動落下		
総掘進長	30.45m		度	向		エンジン	ヤンマー NFD-9		ポンプ	カノ-V6				

標尺 (m)	層高 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N値	原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
										深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	度					
1	0.56	2.35		盛土・砂質シルト	淡茶灰		中位	敷地造成時の盛土。GL-1.10mまではシルト質砂礫。コンクリート片、プラスチック片、玉石等を混入する。GL-2.35mまでは粘性中位の砂質シルトよりなる。下部、礫を混入する。全体に不均質である。	10/22 3.20	1.15	4	3	1	8/30				
2				砂混じりシルト	暗灰		軟らかい	粘性の強いシルトよりなる。含水量は中位。砂分を不規則に混入する。GL-4.0m付近より、腐植物を混入する。全体に軟弱である。		1.45	1	1	2	4/30				
3				シルト質細砂	暗灰		軟らかい	粒径均一な細粒砂よりなる。含水量は中位。全体にシルト分を多く混入する。		2.15	1	1	2	2/30				
4	-1.79	2.35	4.70							3.45	1	1	2	4/30				
5	-2.59	0.80	5.50							4.15	1	1	2	2/32				
6										4.47	2	1	1	4/30				
7										5.15	2	1	1	4/30				
8										5.45				0/40				
9										6.15				0/40				
10										6.55				0/40				
11										7.15				0/40				
12										7.55				0/40				
13										8.15				0/40				
14										8.55				0/40				
15										9.15				0/40				
16										9.55				0/40				
17										10.15				0/40				
18										10.55				0/40				
19										11.15	1	1	2	2/36				
20										11.51	2	1	2	5/30				
21										12.15	2	1	2	5/30				
22										12.45	6	9	10	25/30				
23										13.15	6	9	10	25/30				
24										13.45	9	13	16	38/30				
25										14.15	9	13	16	38/30				
26										14.45	21	22	17	60/28				
27										15.15	21	22	17	60/28				
28										15.43	13	12	13	38/30				
29										16.15	13	12	13	38/30				
30										16.45	3	6	41	50/30				
31										17.15	3	6	41	50/30				
32										17.45	33	27		60/17				
33										18.15	33	27		60/17				
34										18.32	20	21	18	59/30				
35										19.15	20	21	18	59/30				
36										19.45	8	11	12	31/30				
37										20.15	8	11	12	31/30				
38										20.45	12	11	19	42/30				
39										21.15	12	11	19	42/30				
40										21.45	13	14	13	40/30				
41										22.15	13	14	13	40/30				
42										22.45	5	5	5	15/30				
43										23.15	5	5	5	15/30				
44										23.45	3	3	4	10/30				
45										24.15	3	3	4	10/30				
46										24.45	6	20	27	53/30				
47										25.15	6	20	27	53/30				
48										25.45	12	25	23	60/29				
49										26.15	12	25	23	60/29				
50										26.44	29	31		60/20				
51										27.15	29	31		60/20				
52										27.35	39	21		60/17				
53										28.15	39	21		60/17				
54										28.32	7	8	9	24/30				
55										29.15	7	8	9	24/30				
56										29.45	9	18	28	55/30				
57										30.15	9	18	28	55/30				
58										30.45				55/30				

・ 既存ボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調査名 平成25年度 鳴海住宅地質調査(第2次)

事業・工事名

ボーリング名	No. 1		調査位置	名古屋市緑区浦里四丁目地内	
発注機関	愛知県建設部建築担当局公営住宅課		調査期間	平成25年9月28日～25年10月1日	
調査業者名	株式会社アイエスシイ	主任技師	植直人	コ定者	了者
ボーリングNo	052-882-1202		地盤勾配	北0°	東90°
標高	TP +2.75m	角	上90°	下0°	西180°
掘進長	30.45m	度	0°	0°	0°
北緯	35° 5' 8.5"	東経	136° 56' 40.3"	ボーリングNo	
植直人	植直人	責任者	石原征弘	現場代理人	植直人
ハンマー	ハンマー	落下用具	ハンマー	ポンプ	カノローV6
エンジン	エンジン	機種	エンジン	機種	エンジン

標尺	層厚	標高	柱状図	土質区分	色	相対稠密度	相対稠度	記	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験		原位置試験		室内試験		掘進月日
										深	10cmこの打撃回数	深	試験名	試験番号	採取方法	
1				盛土・砂質シルト	淡褐	軟らかい	中位	粘性の強いシルトを主体とする。含水量はやや多い。φ2~50mm程度の亜角礫を混入する。全体に軟弱である。	9/28 2.90	1.15	2	5	3.15	IP-1	○	
2				細砂	暗灰	中くらい		粘発均一な細粒砂を主体とする。含水量は中位。シルト分を混入する。		1.45	1	2	3.15			
3				砂質シルト	暗灰	軟らかい		粘性の強いシルトを主体とする。含水量は多い。砂は細砂主体。軟弱である。		2.15	3	4	3.15			
4				シルト	暗灰	非常に軟らかい		粘性の強い比較的均質なシルトを主体とする。含水量は多い。貝殻片を混入する。GL-3.0m付近、腐植物を少量混入する。全体に軟弱である。		2.45	1	1	3.15			
5				砂	灰	中くらい		φ2~30mm程度の(0.03~0.075mm程度)の亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多量。孔壁崩壊著しい。		3.45	1	1	3.15			
6				砂	灰	硬い		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		4.15	1	1	3.15			
7				砂	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		4.65	1	1	3.15			
8				砂	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。若干の礫を混入する。		5.70	1	1	3.15			
9				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		6.15	1	1	3.15			
10				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		6.65	1	1	3.15			
11				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		7.15	1	1	3.15			
12				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		7.65	1	1	3.15			
13				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		8.15	1	1	3.15			
14				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		8.45	1	1	3.15			
15				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		8.95	1	1	3.15			
16				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		9.45	1	1	3.15			
17				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		10.15	1	1	3.15			
18				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		10.45	1	1	3.15			
19				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		11.15	1	1	3.15			
20				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		11.45	1	1	3.15			
21				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		12.15	1	1	3.15			
22				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		12.37	1	1	3.15			
23				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		13.15	1	1	3.15			
24				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		13.31	1	1	3.15			
25				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		14.15	1	1	3.15			
26				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		14.33	1	1	3.15			
27				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		15.15	1	1	3.15			
28				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		15.29	1	1	3.15			
29				シルト	暗黄灰	非常に密な		粘性は中位。含水量は中位。砂は中砂主体。やや硬質。		16.15	1	1	3.15			
30				シルト	暗黄灰	非常に密な		φ2~40mm程度の面円～亜角礫を主体とする。農間充填物は粗中砂主体。含水量は多く、孔壁崩壊著しい。		16.35	1	1	3.15			

ボーリング柱状図

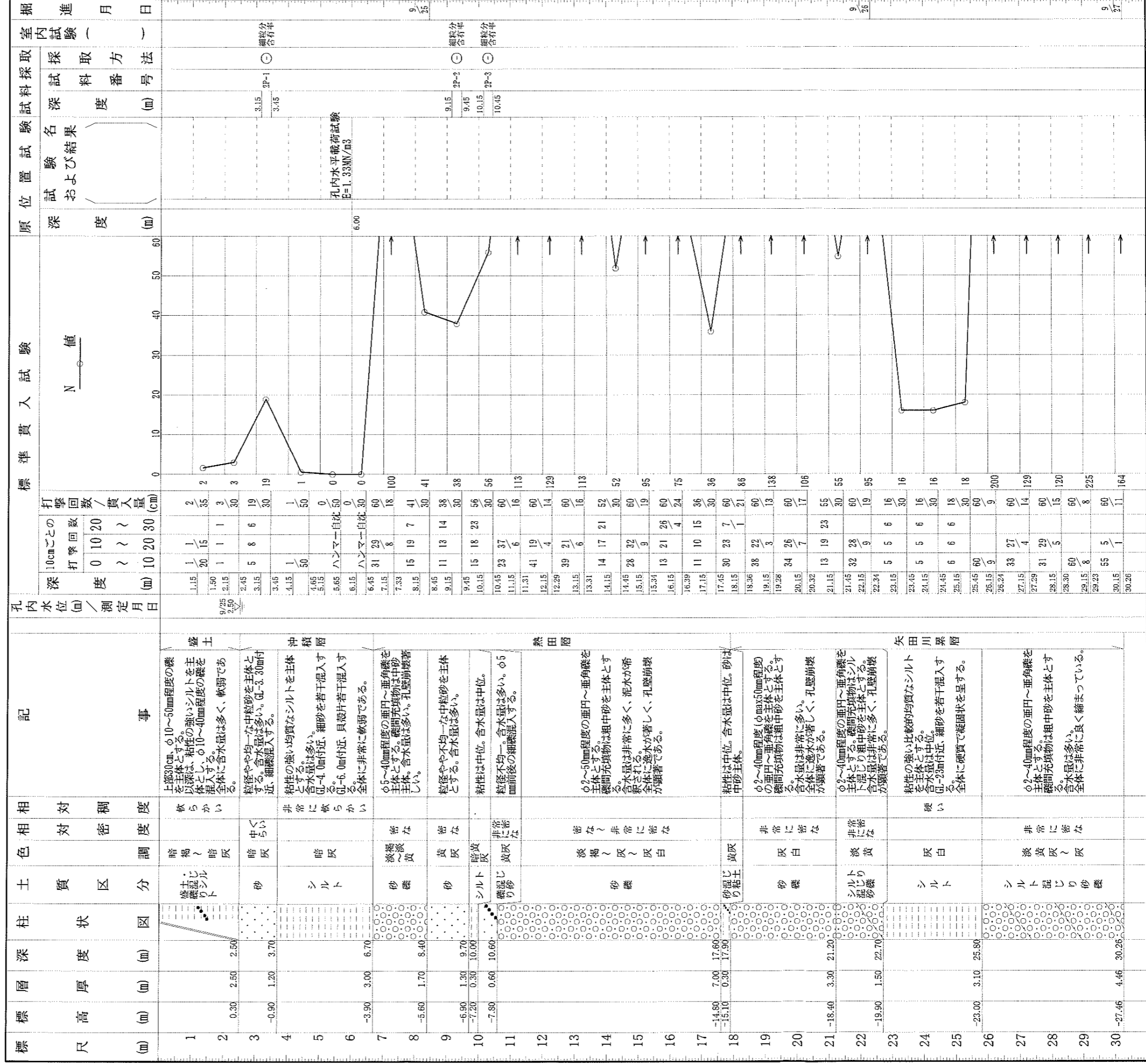
調査名 平成25年度 鳴海住宅地質調査(第2次)

事業・工事名

ボーリングNo

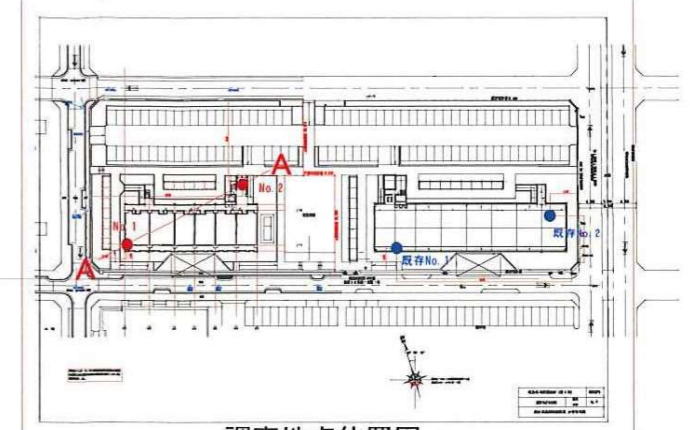
シートNo

ボーリング名	N0.2		調査位置	名古屋市緑区浦里四丁目地内	
発注機関	愛知県建設部建築担当局公営住宅課		調査期間	平成25年9月25日～25年9月27日	
調査業者名	株式会社アイエスシイ	主任技師	植直人	現場代理人	植直人
ボーリングNo	052-882-1202	方角	北0°	東	35°5'8.5"
標高	TP +2.80m	方位	270°	西	東
掘進長	30.26m	角度	180°	南	東
責任者	石原征弘	地盤勾配	90°	東	東
植直人	植直人	使用機種	水平0°	開始値	90°
ハンマー	ハンマー	エンジン	カノKR-100H	ポンプ	カノV6
落下用具	落下用具	試験機	ヤンマーNFD-9	試験機	ヤンマーNFD-9
半自動落下	半自動落下	試験機	ヤンマーNFD-9	試験機	ヤンマーNFD-9

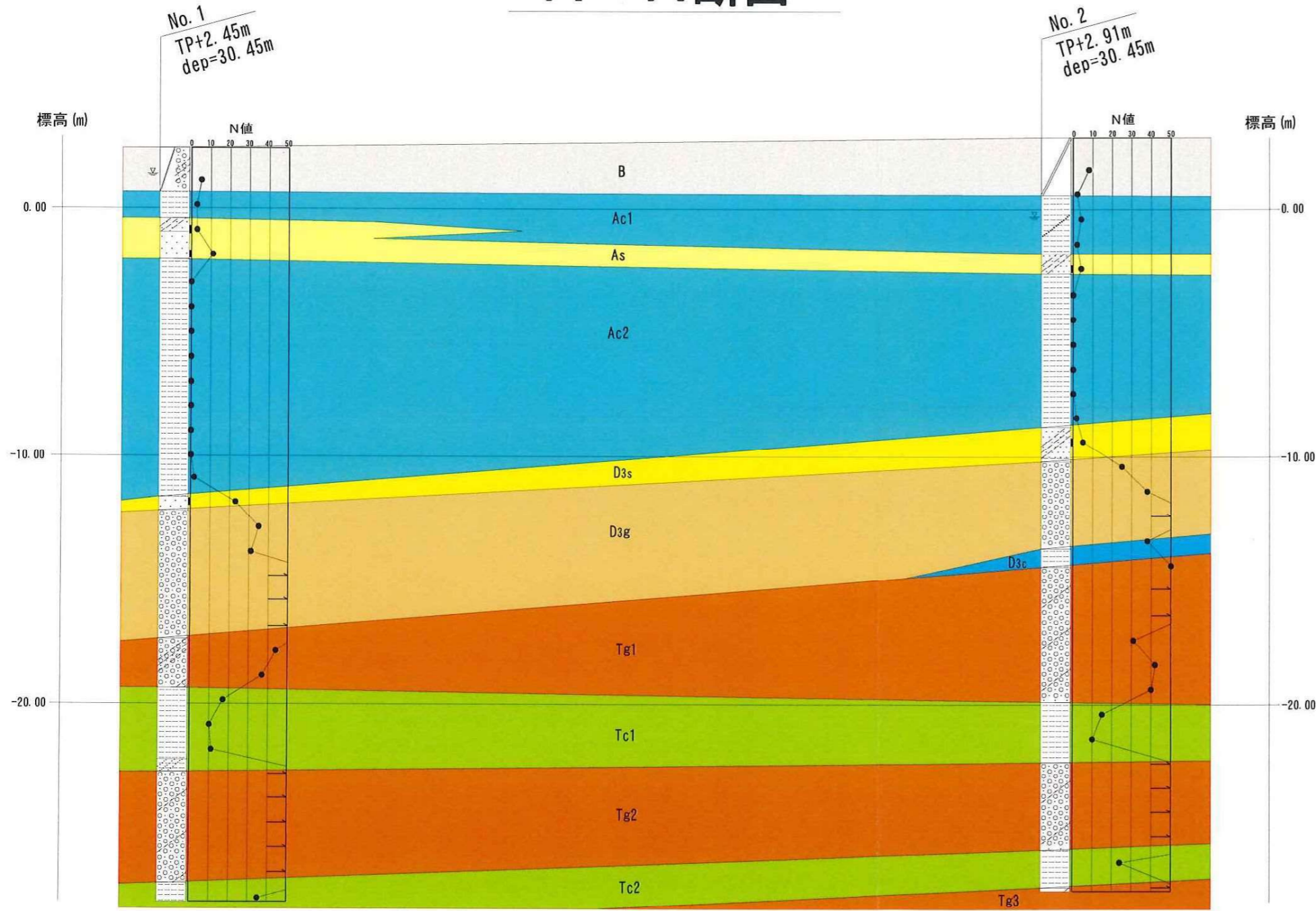


・ 土層推定断面図

A-A断面



調査地点位置図 縮尺1:2,000

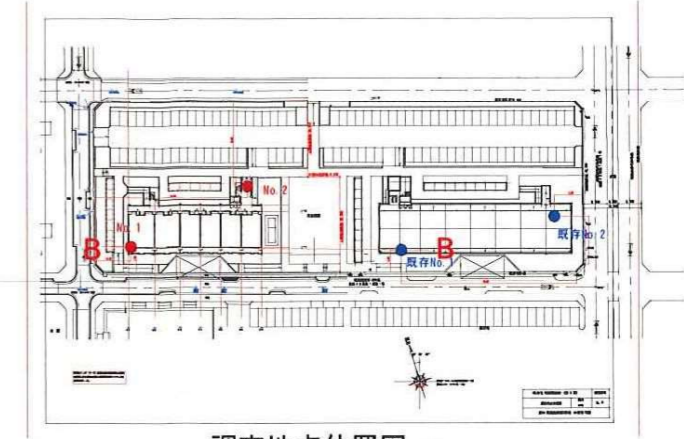


土質区分凡例

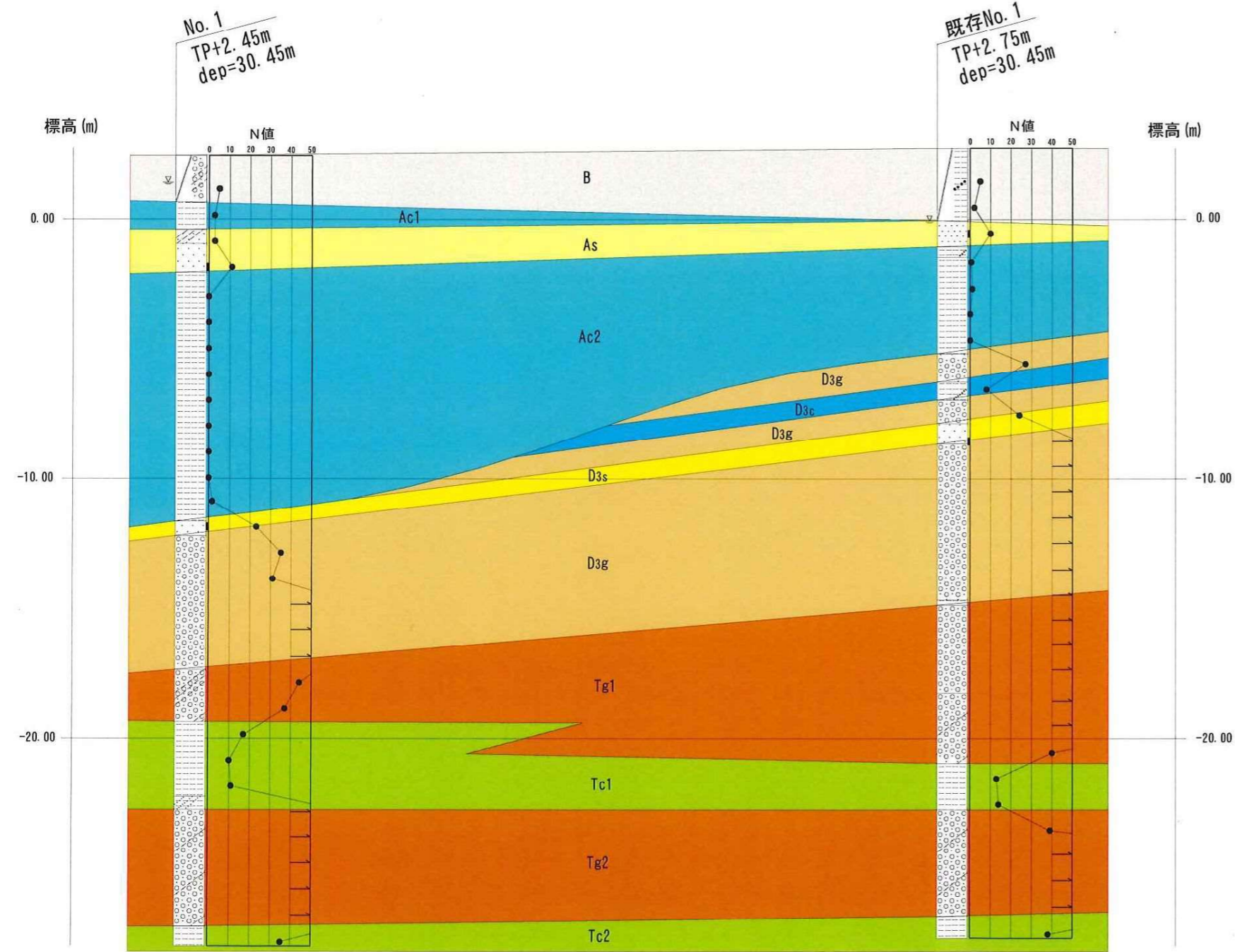
地質時代	地質区分	土層名	記号	主な土質
現世	盛土	粘性土	Bc	礫混じりシルト
第四紀	完新世 沖積層	粘性土1	Ac1	シルト
		砂質土	As	細砂
		粘性土2	Ac2	シルト
更新世	熱田層	砂質土	D3s	細砂~砂
		礫質土	D3g	砂 礫
		粘性土	D3c	シルト
第三紀 鮮新世	矢田川累層	礫質土1	Tg1	砂 礫
		粘性土1	Tc1	固結シルト
		礫質土2	Tg2	砂 礫
		粘性土2	Tc2	固結シルト

土層推定断面図 縮尺 横1:200、縦1:200

B - B 断面



調査地点位置図 縮尺1:2,000

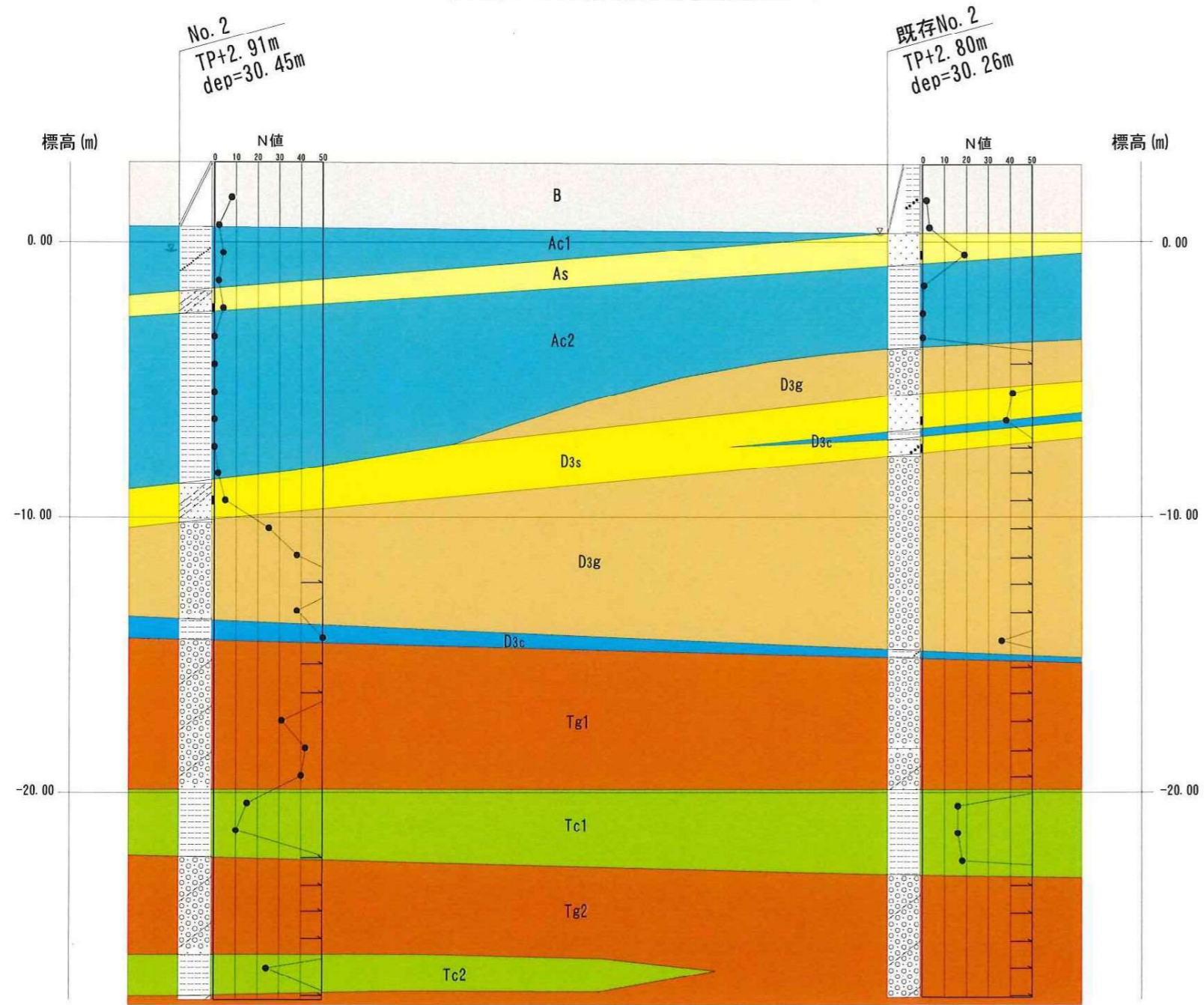


土層推定断面図 縮尺 横1:500、縦1:200

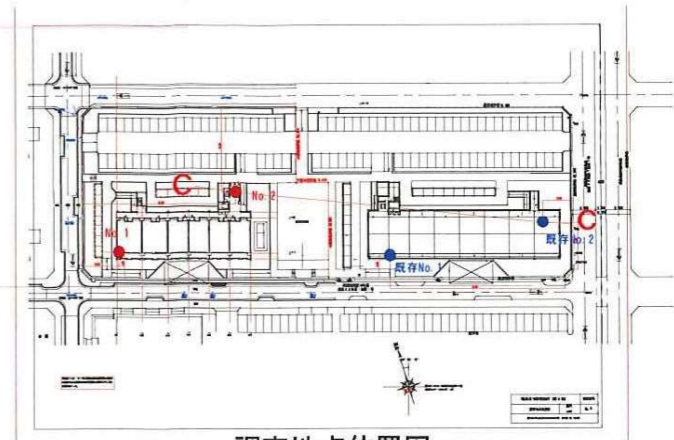
土質区分凡例

地質時代	地質区分	土層名	記号	主な土質
現世	盛土	粘性土	Bc	礫混じりシルト
第四紀	完新世 沖積層	粘性土1	Ac1	シルト
		砂質土	As	細砂
	更新世 熱田層	粘性土2	Ac2	シルト
		砂質土	D3s	細砂~砂
第三紀 鮮新世	矢田川累層	礫質土	D3g	砂 礫
		粘性土	D3c	シルト
		礫質土1	Tg1	砂 礫
		粘性土1	Tc1	固結シルト
		礫質土2	Tg2	砂 礫
		粘性土2	Tc2	固結シルト

C-C断面



土層推定断面図 縮尺 横1:500、縦1:200



調査地点位置図 縮尺1:2,000

土質区分凡例

地質時代	地質区分	土層名	記号	主な土質
現世	盛土	粘性土	Bc	礫混じりシルト
第四紀	完新世 沖積層	粘性土1	Ac1	シルト
		砂質土	As	細砂
	粘性土2	Ac2	シルト	
	更新世 熱田層	砂質土	D3s	細砂~砂
第三紀 鮮新世 矢田川累層	熱田層	礫質土	D3g	砂 礫
		粘性土	D3c	シルト
		礫質土1	Tg1	砂 礫
第三紀 鮮新世 矢田川累層	熱田層	粘性土1	Tc1	固結シルト
		礫質土2	Tg2	砂 礫
		粘性土2	Tc2	固結シルト

・ 孔内水平載荷試験データ

測定結果図

調査名 鳴海住宅地質調査(第3次)

No. 1

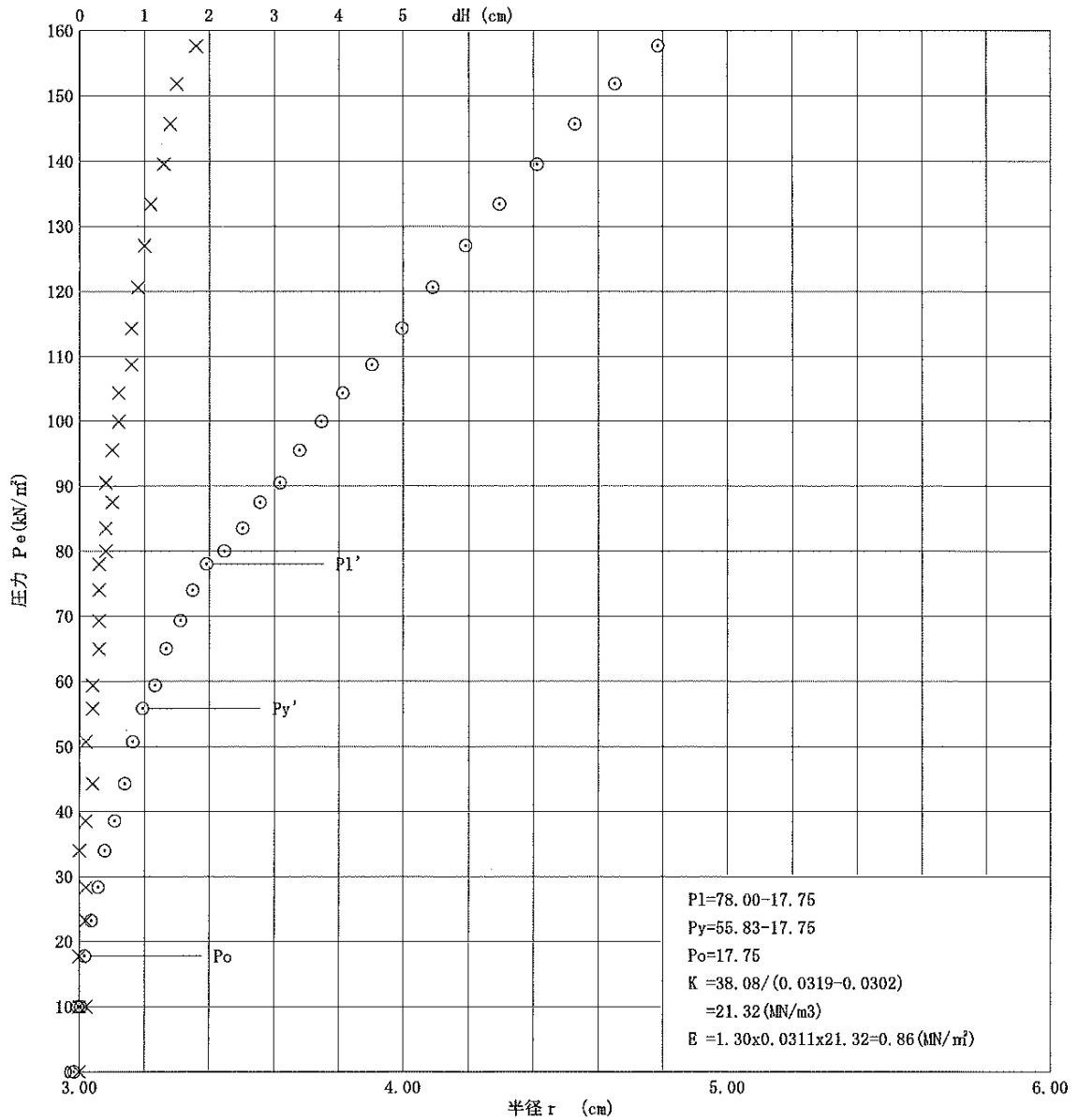
測定年月日 平成27年10月20日

土質名 シルト

N 値 0/55

測定深度 GL -6.00m

静止土圧 P_o kN/m ²	降伏圧 P_y kN/m ²	破壊圧 P_l kN/m ²	地盤係数 K MN/m ³	変形係数 E MN/m ²	中間半径 r_m cm
17.75	38.08	60.25	21.32	0.86	3.11



測定結果表

調査名 鳴海住宅地質調査(第3次)

No. 1

測定年月日 平成27年10月20日

測定者 坪井正樹

孔内水位 GL -1.05m

初期スタンドパイプの水位 0.5cm

挿入後スタンドパイプの水位 0.2cm

$P_s=0\text{kN/m}^2$

ポアソン比 0.3

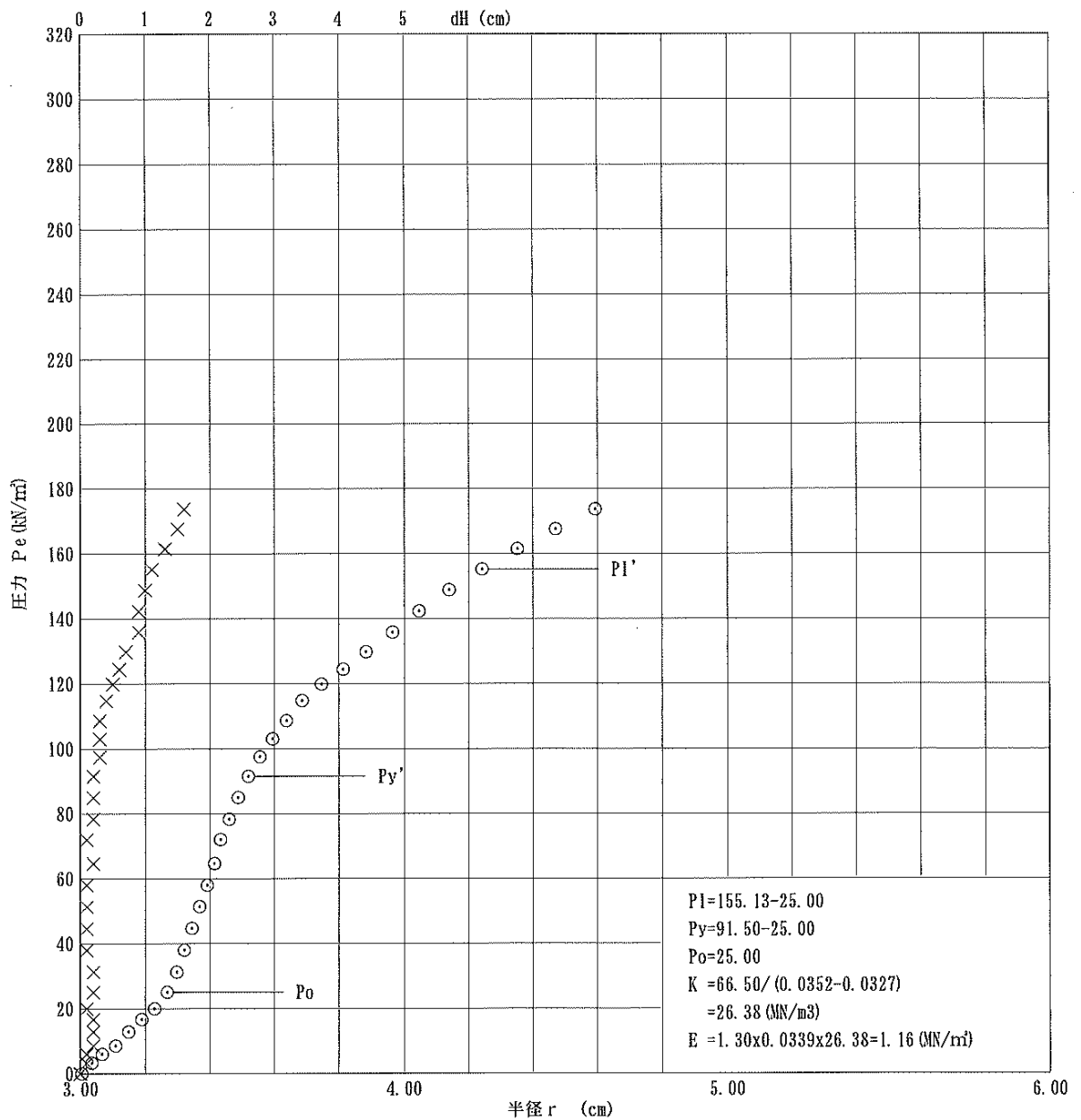
セル水圧 kN/m ²	ガス圧 kN/m ²	スタンドパイプの読み H' cm			dH cm	H cm	PG kN/m ²	PG-P kN/m ²	Pe kN/m ²	r cm
		15"	30"	60"						
0	0			0.2		-0.3	0	0	0	2.98
10	10	0.2	0.3	0.4	0.1	-0.1	0	-10	10	2.99
20	20	0.6	0.6	0.6	0.0	0.1	10	-10	10	3.01
30	30	0.8	0.8	0.8	0.0	0.3	12	-18	18	3.02
40	40	1.0	1.1	1.2	0.1	0.7	17	-23	23	3.04
50	50	1.4	1.5	1.6	0.1	1.1	22	-28	28	3.06
60	60	1.8	2.0	2.0	0.0	1.5	26	-34	34	3.08
70	70	2.3	2.5	2.6	0.1	2.1	31	-39	39	3.11
80	80	2.9	3.0	3.2	0.2	2.7	36	-44	44	3.14
90	90	3.5	3.6	3.7	0.1	3.2	39	-51	51	3.16
100	100	4.0	4.1	4.3	0.2	3.8	44	-56	56	3.19
110	110	4.7	4.9	5.1	0.2	4.6	51	-59	59	3.23
120	120	5.4	5.5	5.8	0.3	5.3	55	-65	65	3.27
130	130	6.2	6.4	6.7	0.3	6.2	61	-69	69	3.31
140	140	7.0	7.2	7.5	0.3	7.0	66	-74	74	3.35
150	150	7.9	8.1	8.4	0.3	7.9	72	-78	78	3.39
160	160	8.9	9.2	9.6	0.4	9.1	80	-80	80	3.45
170	170	10.1	10.4	10.8	0.4	10.3	87	-84	84	3.50
180	180	11.2	11.5	12.0	0.5	11.5	93	-88	88	3.56
190	190	12.5	13.0	13.4	0.4	12.9	100	-91	91	3.62
200	200	14.0	14.3	14.8	0.5	14.3	105	-95	95	3.68
210	210	15.4	15.8	16.4	0.6	15.9	110	-100	100	3.75
220	220	17.1	17.4	18.0	0.6	17.5	116	-104	104	3.81
230	230	18.8	19.4	20.2	0.8	19.7	121	-109	109	3.90
240	240	21.1	21.7	22.5	0.8	22.0	126	-114	114	4.00
250	250	23.4	24.0	24.9	0.9	24.4	129	-121	121	4.09
260	260	25.9	26.5	27.5	1.0	27.0	133	-127	127	4.19
270	270	28.5	29.2	30.3	1.1	29.8	137	-133	133	4.29
280	280	31.4	32.2	33.5	1.3	33.0	140	-140	140	4.41
290	290	34.6	35.4	36.8	1.4	36.3	144	-146	146	4.53
300	300	37.9	38.9	40.4	1.5	39.9	148	-152	152	4.65
310	310	41.6	42.6	44.4	1.8	43.9	152	-158	158	4.79

測定結果図

調査名 鳴海住宅地質調査(第3次)
 No. 2
 測定年月日 平成27年10月22日
 土質名 シルト
 N 値 0/40

測定深度 GL -6.00m

静止土圧 P_o kN/m ²	降伏圧 P_y kN/m ²	破壊圧 P_l kN/m ²	地盤係数 K MN/m ³	変形係数 E MN/m ²	中間半径 r_m cm
25.00	66.50	130.13	26.38	1.16	3.39



測定結果表

調査名 鳴海住宅地質調査(第3次)

No. 2

測定年月日 平成27年10月22日

測定者 坪井正樹

孔内水位 GL -3.20m

初期スタンドパイプの水位 0.6cm

挿入後スタンドパイプの水位 0.7cm

Ps=10kN/m²

ポアソン比 0.3

セル水圧 kN/m ²	ガス圧 kN/m ²	スタンドパイプの読み H' cm			dH cm	H cm	PG kN/m ²	PG-P kN/m ²	Pe kN/m ²	r cm
		15"	30"	60"						
0	0			0.7		0.1	10	10	0	3.01
10	10	1.0	1.2	1.3	0.1	0.7	17	7	3	3.04
20	20	1.7	1.8	1.9	0.1	1.3	24	4	6	3.07
30	30	2.3	2.5	2.7	0.2	2.1	31	1	9	3.11
40	40	3.1	3.3	3.5	0.2	2.9	37	-3	13	3.15
50	50	3.8	4.1	4.3	0.2	3.7	43	-7	17	3.19
60	60	4.8	5.0	5.1	0.1	4.5	50	-10	20	3.23
70	70	5.5	5.7	5.9	0.2	5.3	55	-15	25	3.27
80	80	6.2	6.3	6.5	0.2	5.9	59	-21	31	3.30
90	90	6.8	6.9	7.0	0.1	6.4	62	-28	38	3.32
100	100	7.3	7.4	7.5	0.1	6.9	65	-35	45	3.34
110	110	7.8	7.9	8.0	0.1	7.4	69	-41	51	3.37
120	120	8.3	8.4	8.5	0.1	7.9	72	-48	58	3.39
130	130	8.7	8.8	9.0	0.2	8.4	75	-55	65	3.41
140	140	9.2	9.3	9.4	0.1	8.8	78	-62	72	3.43
150	150	9.7	9.8	10.0	0.2	9.4	82	-68	78	3.46
160	160	10.3	10.4	10.6	0.2	10.0	85	-75	85	3.49
170	170	10.9	11.1	11.3	0.2	10.7	89	-82	92	3.52
180	180	11.7	11.8	12.1	0.3	11.5	93	-88	98	3.56
190	190	12.5	12.7	13.0	0.3	12.4	97	-93	103	3.60
200	200	13.4	13.7	14.0	0.3	13.4	101	-99	109	3.64
210	210	14.4	14.7	15.1	0.4	14.5	105	-105	115	3.69
220	220	15.7	16.0	16.5	0.5	15.9	110	-110	120	3.75
230	230	17.1	17.5	18.1	0.6	17.5	116	-114	124	3.81
240	240	18.7	19.1	19.8	0.7	19.2	120	-120	130	3.88
250	250	20.5	20.9	21.8	0.9	21.2	124	-126	136	3.96
260	260	22.5	23.0	23.9	0.9	23.3	128	-132	142	4.05
270	270	24.7	25.3	26.3	1.0	25.7	131	-139	149	4.14
280	280	27.2	27.9	29.0	1.1	28.4	135	-145	155	4.24
290	290	30.0	30.7	32.0	1.3	31.4	139	-151	161	4.35
300	300	33.0	33.8	35.3	1.5	34.7	142	-158	168	4.47
310	310	36.3	37.2	38.8	1.6	38.2	146	-164	174	4.59

・ 室内土質試験データ

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成27年度 鳴海住宅地質調査(第3次)

整理年月日 平成 27年 11月 6日

整理担当者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	1P-1 (3.15~3.47m)	1P-2 (4.15~4.45m)	1P-3 (14.15~14.45m)			
一般	湿潤密度 ρ_t g/cm ³					
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³					
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³					
	自然含水比 w_n %					
	間隙比 e					
粒度	飽和度 S_r %					
	石分 (7.5mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2~7.5mm) %					
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %					
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %					
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %					
	最大粒径 mm					
	均等係数 U_c					
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %					
	塑性限界 w_p %					
	塑性指数 I_p					
分類	地盤材料の 分類名					
	分類記号					
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
一軸圧縮	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん断	試験条件					
	全応力	c kN/m ²				
		ϕ °				
	有効応力	c' kN/m ²				
ϕ' °						
特記事項	細粒分含有率 F_c %	38.2	7.1	12.2		

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m²≒0.0102kgf/cm²]

土質試験結果一覧表 (基礎地盤)

調査件名 平成27年度 鳴海住宅地質調査(第3次)

整理年月日 平成 27年 11月 6日

整理担当者 石原 聖子

試料番号 (深 さ)	2P-1 (5.15~5.45m)	2P-2 (12.15~12.45m)			
一般	湿潤密度 ρ_w g/cm ³				
	乾燥密度 ρ_d g/cm ³				
	土粒子の密度 ρ_s g/cm ³				
	自然含水比 w_n %				
	間隙比 e				
	飽和度 S_r %				
粒度	石分 (75mm以上) %				
	礫分 ¹⁾ (2~75mm) %				
	砂分 ¹⁾ (0.075~2mm) %				
	シルト分 ¹⁾ (0.005~0.075mm) %				
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %				
	最大粒径 mm				
	均等係数 U_c				
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %				
	塑性限界 w_p %				
	塑性指数 I_p				
分類	地盤材料の 分類名				
	分類記号				
圧密	試験方法				
	圧縮指数 C_c				
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²				
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_0 kN/m ²				
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²				
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²				
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²				
せん断	試験条件				
	全応力	c kN/m ²			
		ϕ °			
	有効応力	c' kN/m ²			
ϕ' °					
	細粒分含有率 F_c %	42.3	21.6		

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m²≒0.0102kgf/cm²]

JIS A 1223 JGS 0135	土の細粒分含有率試験	
------------------------	------------	--

調査件名 平成27年度 鳴海住宅地質調査(第3次)

試験年月日 平成 27年 11月 6日

試験者 石原 聖子

試料番号(深さ)		1P-1 (3.15~3.47m)		1P-2 (4.15~4.45m)		1P-3 (14.15~14.45m)	
含水比	容器 No.	S81	S82	S83	S84	S85	S86
	m_s g	192.64	171.57	173.22	180.32	183.93	166.10
	m_b g	154.06	139.27	149.56	154.95	164.72	148.91
	m_c g	47.78	48.28	47.58	47.44	47.58	47.80
	w %	36.3	35.5	23.2	23.6	16.4	17.0
平均値 w %		35.9		23.4		16.7	
試料の 炉乾燥 質量	容器 No.	S76		S77		S78	
	(試料+容器)質量 g	248.57		260.97		269.71	
	容器質量 g	48.28		48.30		48.08	
	試料の質量 m g	200.29		212.67		221.63	
	試料の炉乾燥質量 m_s g	147.38		172.34		189.91	
ふるい 残 留 分	ふるい	425 μ m	75 μ m	425 μ m	75 μ m	425 μ m	75 μ m
	容器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量 g	15.80	75.34	79.26	80.81	78.48	88.27
	容器質量 g						
	炉乾燥試料質量 g	15.80	75.34	79.26	80.81	78.48	88.27
組ふるいに残留した 炉乾燥質量 m_{0s} g		91.14		160.07		166.75	
細粒分含有率 F_c %		38.2		7.1		12.2	
試料の最大粒径 mm		19		19		19	

特記事項

$$m_s = \frac{m}{1 + w/100}$$

$$F_c = \frac{m_s - m_{0s}}{m_s} \times 100$$

JIS A 1223 JGS 0135	土の細粒分含有率試験	
------------------------	------------	--

調査件名 平成27年度 鳴海住宅地質調査(第3次) 試験年月日 平成 27年 11月 6日

試験者 石原 聖子

試料番号(深さ)		2P-1 (5.15~5.45m)		2P-2 (12.15~12.45m)			
含水比	容器 No.	S87	S88	S89	S90		
	m_s g	159.12	159.47	253.57	241.00		
	m_b g	132.58	132.92	219.45	207.65		
	m_c g	47.52	47.82	47.15	47.29		
	w %	31.2	31.2	19.8	20.8		
平均値 w %		31.2		20.3			
試料の炉乾燥質量	容器 No.	S79		S80			
	(試料+容器)質量 g	220.61		383.26			
	容器質量 g	48.06		48.25			
	試料の質量 m g	172.55		335.01			
	試料の炉乾燥質量 m_s g	131.52		278.48			
ふるい残留分	ふるい	425 μ m	75 μ m	425 μ m	75 μ m	425 μ m	75 μ m
	容器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量 g	13.98	61.97	141.62	76.64		
	容器質量 g						
	炉乾燥試料質量 g	13.98	61.97	141.62	76.64		
組ふるいに残留した炉乾燥質量 m_{0s} g		75.95		218.26			
細粒分含有率 F_c %		42.3		21.6			
試料の最大粒径 mm		4.75		19			

特記事項

$$m_s = \frac{m}{1 + w/100}$$

$$F_c = \frac{m_s - m_{0s}}{m_s} \times 100$$

・ 液状化判定結果表

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

件名： 平成27年度 鳴海住宅地質調査(第3次)

ボーリング No. 1

地盤標高： 2.45m

地下水位：GL- 1.05m

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	γ_t (kN/m ³)	γ_{sat} (kN/m ³)	γ' (kN/m ³)	計算深度 (m)	N 値	σ_v (kN/m ²)	σ_v' (kN/m ²)	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	補正 N 値	M=7.0 $\alpha_{max}=150.0$ gal			低減係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL 判定			
1.80	[Crossed pattern]	1.80	1.80	14.0	15.0	5.0	1.30	5	18.4	16.0	0.0	0.0	****	****	****	****	1.00	10	1.5	
2.85		[Blue dotted pattern]	2.85	1.05	14.0	15.0	5.0	2.31	3	33.7	21.0	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	20	1.5
3.40			3.40	0.55	17.0	18.0	8.0	3.31	3	50.0	27.4	38.2	38.2	15.6	0.170	0.159	1.067	1.00	30	1.5
4.50		[Blue dotted pattern]	4.50	1.10	17.0	18.0	8.0	4.30	11	67.8	35.3	7.1	7.1	21.0	0.256	0.165	1.550	1.00	40	1.5
5.43	5.43		0	85.3	41.5	75.0	5.43	0	85.3	41.5	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	5	5	
6.43	6.43		0	100.3	46.5	75.0	6.43	0	100.3	46.5	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	10	5	
7.43	7.43		0	115.3	51.5	75.0	7.43	0	115.3	51.5	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	15	5	
8.43	8.43		0	130.3	56.5	75.0	8.43	0	130.3	56.5	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	20	5	
9.43	9.43		0	145.3	61.5	75.0	9.43	0	145.3	61.5	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	25	5	
10.43	10.43		0	160.3	66.5	75.0	10.43	0	160.3	66.5	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	30	5	
11.43	11.43		0	175.3	71.5	75.0	11.43	0	175.3	71.5	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	35	5	
12.43	12.43		0	190.3	76.5	75.0	12.43	0	190.3	76.5	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	40	5	
13.33	13.33		2	203.8	81.0	75.0	13.33	2	203.8	81.0	75.0	75.0	****	****	****	****	1.00	45	5	
14.10	[Blue dotted pattern]	14.10	9.60	14.0	15.0	5.0	14.30	23	219.2	86.7	12.2	12.2	31.1	1.282	0.182	7.029	1.00	50	15	
14.65		14.65	0.55	18.0	19.0	9.0	15.30	35	239.5	97.0	0.0	0.0	35.5	2.898	0.175	16.589	1.00	55	15	
15.30	[Orange dotted pattern]	15.30	0.55	18.0	19.0	9.0	16.30	31	260.5	108.0	0.0	0.0	29.8	1.003	0.167	5.995	1.00	60	15	
17.27		17.27	60	281.0	118.7	0.0	17.27	60	281.0	118.7	0.0	0.0	55.1	57.219	0.161	355.349	1.00	65	15	
18.24		18.24	60	301.2	129.3	0.0	18.24	60	301.2	129.3	0.0	0.0	52.8	42.473	0.155	273.366	1.00	70	15	
19.29		19.29	60	323.4	140.9	0.0	19.29	60	323.4	140.9	0.0	0.0	50.5	31.513	0.150	210.464	1.00	75	15	
20.45	20.45	0.65	20.0	21.0	11.0	20.30	44	344.5	152.0	0.0	0.0	****	****	****	****	****	****	80	20	

FL値による判定
 X-液状化すると判定
 O-液状化しないと判定
 PL法による判定
 X-PL>15 液状化危険度が極めて高い
 △-15≦PL>5 液状化危険度が高い
 O-PL≦5 液状化危険度が低い

PL法	
0.00	O

沈下量	
0.00 cm	

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

件名： 平成27年度 鳴海住宅地質調査 (第3次) ボーリングNo. 1 地盤標高： 2.45m 地下水位： GL-1.05m

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	γ_t (kN/m ³)	γ_{sat} (kN/m ³)	γ^* (kN/m ³)	計算深度 (m)	N 値	σ_v (kN/m ²)	σ'_v (kN/m ²)	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	補正 N 値	M=7.5 $\alpha_{max}=200.0 \text{ gal}$			低減係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL 判定			
5		1.80	1.80	14.0	15.0	5.0	1.30	5	18.4	16.0	0.0	0.0		****	****	****	1.00	10	5	
		2.85	1.05	14.0	15.0	5.0	2.31	3	33.7	21.0	75.0	75.0		****	****	****	1.00	20	5	
		3.40	0.55	17.0	18.0	8.0	3.31	3	50.0	27.4	38.2	38.2		15.6	0.170	0.230	0.739	X	30	5
		4.50	1.10	17.0	18.0	8.0	4.30	11	67.8	35.3	7.1	7.1		21.0	0.256	0.238	1.073	O	40	5
							5.43	0	85.3	41.5	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5	
							6.43	0	100.3	46.5	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5	
							7.43	0	115.3	51.5	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5	
							8.43	0	130.3	56.5	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5	
							9.43	0	145.3	61.5	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5	
							10.43	0	160.3	66.5	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5	
10						11.43	0	175.3	71.5	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5		
						12.43	0	190.3	76.5	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5		
						13.33	2	203.8	81.0	75.0	75.0		****	****	****	1.00	10	5		
15						14.30	23	219.2	86.7	12.2	12.2		31.1	1.282	0.253	4.866	O	10	15	
						15.30	35	239.5	97.0	0.0	0.0		35.5	2.898	0.252	11.485	O	20	15	
						16.30	31	260.5	108.0	0.0	0.0		29.8	1.003	0.242	4.150	O	30	15	
						17.27	60	281.0	118.7	0.0	0.0		55.1	57.219	0.233	246.011	O	40	15	
						18.24	60	301.2	129.3	0.0	0.0		52.8	42.473	0.224	189.253	O	10	15	
						19.29	60	323.4	140.9	0.0	0.0		50.5	31.513	0.216	145.706	O	20	15	
20						20.30	44	344.5	152.0	0.0	0.0		****	****	****	****	****	10	20	

沈下量 1.38 cm

P L 法 1.20

F L 値による判定
 X-液状化すると判定
 O-液状化しないと判定
 P L 法による判定
 X-PL>15 液状化危険度が極めて高い
 Δ-1.5≧PL>5 液状化危険度が高い
 O-PL≦5 液状化危険度が低い

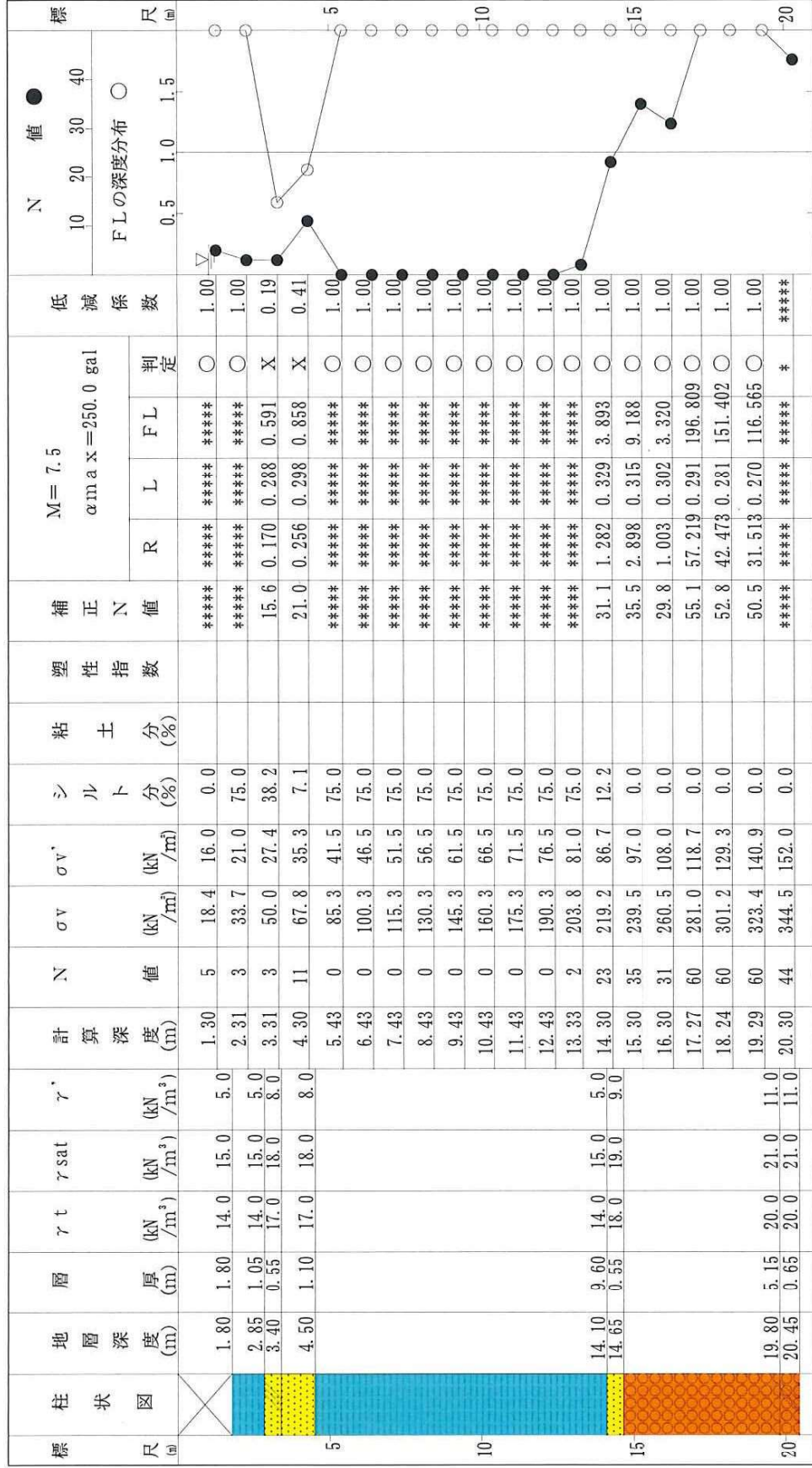
液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

件名: 平成27年度 鳴海住宅地質調査 (第3次)

ボリツグ No. 1

地盤標高: 2.45m

地下水位: GL-1.05m



FL値による判定
 X-液状化すると判定
 ○-液状化しないと判定
 PL法による判定
 X-PL>15 液状化危険度が極めて高い
 △-1.5≧PL>5 液状化危険度が高い
 ○-PL≦5 液状化危険度が低い

FL値による判定
 X-液状化すると判定
 ○-液状化しないと判定
 PL法による判定
 X-PL>15 液状化危険度が極めて高い
 △-1.5≧PL>5 液状化危険度が高い
 ○-PL≦5 液状化危険度が低い

沈下量
 2.38 cm

PL法
 3.10
 ○

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

件名： 平成27年度 鳴海住宅地質調査 (第3次) ボーリングNo. 1 地盤標高： 2.45m 地下水位： GL- 1.05m

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	γ_t (kN/m^3)	γ_{sat} (kN/m^3)	γ' (kN/m^3)	計算深度 (m)	N 値	σ_v (kN/m^2)	σ_v' (kN/m^2)	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	補正 N 値	M=8.0 $\alpha_{\text{max}}=350.0 \text{ gal}$			低減係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL 判定			
1.80	[Cross-section diagram showing soil layers]	1.80	1.80	14.0	15.0	5.0	1.30	5	18.4	16.0	0.0			****	****	****	1.00	1.00	5	
2.85		2.85	1.05	14.0	15.0	5.0	2.31	3	33.7	21.0	75.0			****	****	****	1.00	1.00	5	
3.40		3.40	0.55	17.0	18.0	8.0	3.31	3	50.0	27.4	38.2			15.6	0.170	0.434	0.392	X	0.19	5
4.50		4.50	1.10	17.0	18.0	8.0	4.30	11	67.8	35.3	7.1			21.0	0.256	0.449	0.569	X	0.41	5
5.43		5.43					5.43	0	85.3	41.5	75.0			****	****	****	1.00	1.00	5	
6.43		6.43					6.43	0	100.3	46.5	75.0			****	****	****	1.00	1.00	5	
7.43		7.43					7.43	0	115.3	51.5	75.0			****	****	****	1.00	1.00	5	
8.43		8.43					8.43	0	130.3	56.5	75.0			****	****	****	1.00	1.00	5	
9.43		9.43					9.43	0	145.3	61.5	75.0			****	****	****	1.00	1.00	5	
10.43		10.43					10.43	0	160.3	66.5	75.0			****	****	****	1.00	1.00	10	
11.43		11.43					11.43	0	175.3	71.5	75.0			****	****	****	1.00	1.00	10	
12.43		12.43					12.43	0	190.3	76.5	75.0			****	****	****	1.00	1.00	10	
13.33		13.33					13.33	2	203.8	81.0	75.0			****	****	****	1.00	1.00	10	
14.30		14.30	9.60	14.0	15.0	5.0	14.30	23	219.2	86.7	12.2			31.1	1.282	0.496	2.582	○	1.00	15
14.65		14.65	0.55	18.0	19.0	9.0		35	239.5	97.0	0.0			35.5	2.898	0.476	6.094	○	1.00	15
16.30		16.30					16.30	31	260.5	108.0	0.0			29.8	1.003	0.456	2.202	○	1.00	15
17.27		17.27					17.27	60	281.0	118.7	0.0			55.1	57.219	0.438	130.536	○	1.00	15
18.24		18.24					18.24	60	301.2	129.3	0.0			52.8	42.473	0.423	100.420	○	1.00	15
19.29		19.29					19.29	60	323.4	140.9	0.0			50.5	31.513	0.408	77.313	○	1.00	15
20.45		20.45	5.15	20.0	21.0	11.0		44	344.5	152.0	0.0			****	****	****	1.00	1.00	20	
20.45		20.45	0.65	20.0	21.0	11.0		44	344.5	152.0	0.0			****	****	****	1.00	1.00	20	

沈下量 2.85 cm
 PL法 6.51
 FL値による判定
 X-液状化すると判定
 ○-液状化しないと判定
 PL法による判定
 X-PL>15 液状化危険度が低い
 △-1.5≧PL>5 液状化危険度が低い
 ○-PL≦5 液状化危険度が低い

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

件名: 平成27年度 鳴海住宅地質調査 (第3次) ボーリングNo. 2 地盤標高: 2.91m 地下水位: GL- 3.20m

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	γ_t (kN/m ³)	γ_{sat} (kN/m ³)	γ' (kN/m ³)	計算深度 (m)	N 値	σ_v (kN/m ²)	σ'_v (kN/m ²)	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	補正 N 値	M = 7.0 $\alpha m \times = 150.0 \text{ gal}$			低減係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL 判定			
							1.30	8	18.2	18.2	65.0			****	****	****	1.00	●		
		2.35	2.35	14.0	15.0	5.0	2.30	2	32.2	32.2	65.0			****	****	****	1.00	●		
							3.30	4	46.3	45.3	75.0			****	****	****	1.00	●		
		4.70	2.35	14.0	15.0	5.0	4.31	2	61.5	50.4	75.0			****	****	****	1.00	●		
5		5.50	0.80	17.0	18.0	8.0	5.30	4	78.1	57.1	42.3			15.5	0.170	0.116	1.468	○	○	
							6.35	0	94.5	62.9	75.0			****	****	****	1.00	●		
							7.35	0	109.5	68.0	75.0			****	****	****	1.00	●		
							8.35	0	124.4	72.9	75.0			****	****	****	1.00	●		
							9.35	0	139.4	77.9	75.0			****	****	****	1.00	●		
10							10.35	0	154.4	82.9	75.0			****	****	****	1.00	●		
							11.33	2	169.2	87.8	75.0			****	****	****	1.00	●		
		11.70	6.20	14.0	15.0	5.0	12.30	5	186.1	95.1	21.6			13.3	0.152	0.147	1.039	○	○	
							13.10	1.40	18.0	19.0	0.0			24.5	0.397	0.145	2.746	○	○	
							14.30	38	226.5	115.5	0.0			35.4	2.806	0.141	19.833	○	○	
15							15.29	60	247.3	126.4	0.0			53.4	46.022	0.138	332.352	○	○	
							16.30	38	268.5	137.5	0.0			32.4	1.625	0.135	11.995	○	○	
		16.60	3.50	20.0	21.0	11.0	17.30	50	288.7	145.7	75.0			****	****	****	1.00	●		
		17.35	0.75	16.0	17.0	7.0	18.23	60	306.1	155.8	0.0			48.1	22.277	0.131	169.919	○	○	
							19.30	59	328.5	167.5	0.0			45.6	15.447	0.128	120.708	○	○	
20		20.45	3.10	20.0	21.0	11.0	20.30	31	349.5	178.5	0.0			****	****	****	1.00	●		

FL 値による判定	X - 液状化すると判定	○ - 液状化しないと判定
PL 法による判定	X - PL > 15	○ - PL ≤ 5
液状化危険度が極めて高い	△ - 15 ≤ PL < 5	○ - PL ≤ 5
液状化危険度が低い	○ - PL ≤ 5	

FL 値による判定	X - 液状化すると判定	○ - 液状化しないと判定
PL 法による判定	X - PL > 15	○ - PL ≤ 5
液状化危険度が極めて高い	△ - 15 ≤ PL < 5	○ - PL ≤ 5
液状化危険度が低い	○ - PL ≤ 5	

FL 値による判定	X - 液状化すると判定	○ - 液状化しないと判定
PL 法による判定	X - PL > 15	○ - PL ≤ 5
液状化危険度が極めて高い	△ - 15 ≤ PL < 5	○ - PL ≤ 5
液状化危険度が低い	○ - PL ≤ 5	

FL 値による判定
X - 液状化すると判定
○ - 液状化しないと判定
PL 法による判定
X - PL > 15
△ - 15 ≤ PL < 5
○ - PL ≤ 5

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

件名: 平成27年度 鳴海住宅地質調査 (第3次) ボーリングNo. 2 地盤標高: 2.91m 地下水位: GL-3.20m

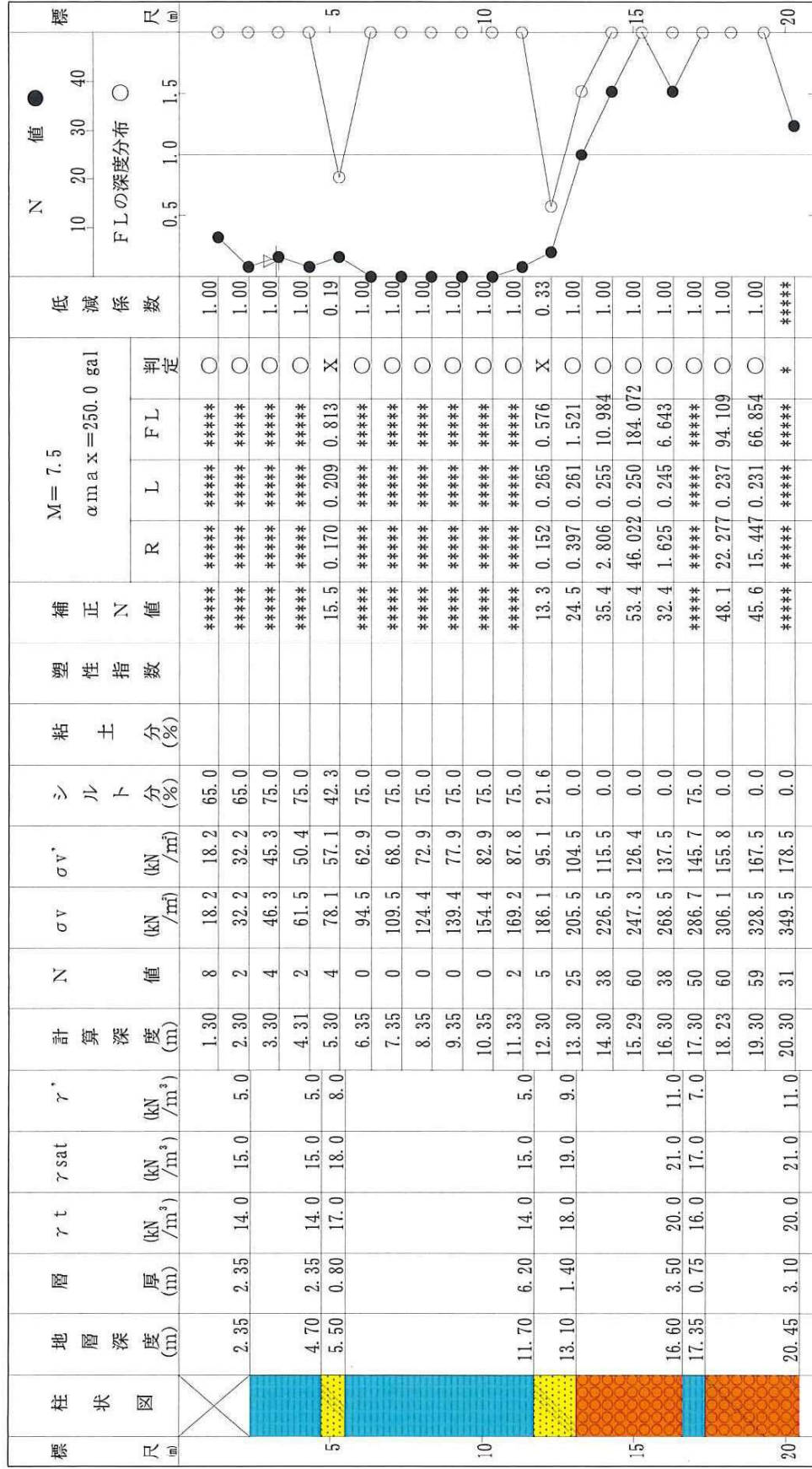
標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	地層厚 (m)	γ_t (kN/m^3)	γ_{sat} (kN/m^3)	γ' (kN/m^3)	計算深度 (m)	N 値	σ_v (kN/m^2)	σ'_v (kN/m^2)	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	修正 N 値	M=7.5 $\alpha_{\text{max}} \times 200.0 \text{ gal}$			低減係数	N 値
															R	L	FL		
5	[Crossed]	2.35	2.35	14.0	15.0	5.0	1.30	8	18.2	18.2	65.0			****	****	****	1.00	●	
		4.70	2.35	14.0	15.0	5.0	2.30	2	32.2	32.2	65.0			****	****	****	1.00	●	
10	[Blue]	5.50	0.80	17.0	18.0	8.0	3.30	4	46.3	45.3	75.0			****	****	****	1.00	●	
		6.35					4.31	2	61.5	50.4	75.0			****	****	****	1.00	●	
		7.35					5.30	4	78.1	57.1	42.3			15.5	0.170	1.016	1.00	○	
		8.35					6.35	0	94.5	62.9	75.0			****	****	****	1.00	○	
		9.35					7.35	0	109.5	68.0	75.0			****	****	****	1.00	○	
15	[Blue]	11.70	6.20	14.0	15.0	5.0	8.35	0	124.4	72.9	75.0			****	****	****	1.00	○	
		13.10	1.40	18.0	19.0	9.0	9.35	0	139.4	77.9	75.0			****	****	****	1.00	○	
		16.60	3.50	20.0	21.0	11.0	10.35	0	154.4	82.9	75.0			****	****	****	1.00	○	
20	[Orange]	17.35	0.75	16.0	17.0	7.0	11.33	2	169.2	87.8	75.0			****	****	****	1.00	○	
		19.30					12.30	5	186.1	95.1	21.6			13.3	0.152	0.719	0.33	X	
		20.45	3.10	20.0	21.0	11.0	13.30	25	205.5	104.5	0.0			24.5	0.397	1.901	1.00	○	
													35.4	2.806	0.204	13.730	1.00	○	
													53.4	46.022	0.200	230.090	1.00	○	
													32.4	1.625	0.196	8.304	1.00	○	
													****	****	****	****	1.00	○	
													48.1	22.277	0.189	117.636	1.00	○	
													45.6	15.447	0.185	83.567	1.00	○	
													****	****	****	****	****	*	

FL値による判定
 X-液状化すると判定
 ○-液状化しないと判定
 PL法による判定
 X-PL>15 液状化危険度が極めて高い
 △-1.5≧PL>5 液状化危険度が高い
 ○-PL≦5 液状化危険度が低い

FL値による判定	1.51
PL法	○
沈下量	1.75 cm

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

件名: 平成27年度 鳴海住宅地質調査 (第3次) ボーリングNo. 2 地盤標高: 2.91m 地下水位: GL-3.20m



FL値による判定
 X-液状化すると判定
 ○-液状化しないと判定
 PL法による判定
 X-PL>15 液状化危険度が極めて高い
 △-1.5≧PL>5 液状化危険度が高い
 ○-PL≦5 液状化危険度が低い

FL値による判定	3.39
PL法	○
沈下量	3.27 cm

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

件名: 平成27年度 鳴海住宅地質調査 (第3次)

ボーリングNo. 2

地盤標高: 2.91m

地下水位: GL- 3.20m

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	γ_t (kN/m ³)	γ_{sat} (kN/m ³)	γ' (kN/m ³)	計算深度 (m)	N 値	σ_v (kN/m ²)	$\sigma_{v'}$ (kN/m ²)	シルト (%)	粘土 (%)	塑性指数	補正 N 値	M=8.0 $\alpha_{max}=350.0$ gal				低減係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL	判定			
5	[Crossed]	2.35	2.35	14.0	15.0	5.0	1.30	8	18.2	18.2	65.0			****	****	****	****	1.00	10	3.20	
		4.70	2.35	14.0	15.0	5.0	2.30	2	32.2	32.2	65.0			****	****	****	****	1.00	20	3.20	
10	[Blue]	5.50	0.80	17.0	18.0	8.0	3.30	4	46.3	45.3	75.0			****	****	****	****	1.00	30	3.20	
			4.31	2	61.5	50.4	75.0	4.31	2	61.5	50.4	75.0			****	****	****	****	1.00	40	3.20
			5.30	4	78.1	57.1	42.3	5.30	4	78.1	57.1	42.3			15.5	0.170	0.315	0.539	X	5	3.20
			6.35	0	94.5	62.9	75.0	6.35	0	94.5	62.9	75.0			****	****	****	****	1.00	10	3.20
15	[Blue]		7.35	0	109.5	68.0	75.0	7.35	0	109.5	68.0	75.0			****	****	****	****	1.00	15	3.20
			8.35	0	124.4	72.9	75.0	8.35	0	124.4	72.9	75.0			****	****	****	****	1.00	20	3.20
			9.35	0	139.4	77.9	75.0	9.35	0	139.4	77.9	75.0			****	****	****	****	1.00	25	3.20
			10.35	0	154.4	82.9	75.0	10.35	0	154.4	82.9	75.0			****	****	****	****	1.00	30	3.20
			11.33	2	169.2	87.8	75.0	11.33	2	169.2	87.8	75.0			****	****	****	****	1.00	35	3.20
			12.30	5	186.1	95.1	21.6	12.30	5	186.1	95.1	21.6			13.3	0.152	0.399	0.382	X	40	3.20
20	[Blue]		13.10	1.40	18.0	19.0	9.0	13.30	25	205.5	104.5	0.0			24.5	0.397	0.394	1.009	O	45	3.20
			14.30	38	226.5	115.5	0.0	14.30	38	226.5	115.5	0.0			35.4	2.806	0.385	7.285	O	50	3.20
			15.29	60	247.3	126.4	0.0	15.29	60	247.3	126.4	0.0			53.4	46.022	0.377	122.089	O	55	3.20
			16.30	38	268.5	137.5	0.0	16.30	38	268.5	137.5	0.0			32.4	1.625	0.369	4.406	O	60	3.20
20	[Blue]		17.35	0.75	16.0	17.0	7.0	17.30	50	286.7	145.7	75.0			****	****	****	****	1.00	65	3.20
			18.23	60	306.1	155.8	0.0	18.23	60	306.1	155.8	0.0			48.1	22.277	0.357	62.419	O	70	3.20
20	[Blue]		19.30	59	328.5	167.5	0.0	19.30	59	328.5	167.5	0.0			45.6	15.447	0.348	44.342	O	75	3.20
			20.45	31	349.5	178.5	0.0	20.30	31	349.5	178.5	0.0			****	****	****	****	*	80	3.20

FL値による判定
 X-液状化すると判定
 O-液状化しないと判定
 P.L法による判定
 X-PL>15 液状化危険度が低い
 △-15≧PL>5 液状化危険度が低い
 O-PL≦5 液状化危険度が低い

沈下量	6.04
4.23 cm	△